



夢のある、元気のある土浦

第9次 土浦市総合計画

【概要版】

2022-2031

はじめに



本市では、これまで、「市民満足度ナンバーワンのあたたかさあふれる土浦市政」を実現するため、市民の皆様の生活に寄り添った数々の施策を着実に実行してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を機に、社会全体が今、激動の時代を迎えていることから、こうした荒波を乗り越え、今の子どもたちが「土浦に生まれてよかった、土浦で育ってよかった、結婚しても土浦に住みたい、土浦で子育てをしたい、土浦で最期を迎えたい」と心から誇りに思えるよう、「誰一人取り残さない」SDGsの理念の下、未来を約束できる土浦を築いていく必要があります。

このようなことから、改めて、時代の潮流を見定めた上で、コロナ収束後の社会の在り方も見据えた未来志向のまちづくりを進めるため、これから10年間のまちづくりの指針となる第9次土浦市総合計画を策定いたしました。

本計画では、誰もが個性と多様性を互いに尊重し、それぞれの夢や希望がかない、生きがいを感じ、その人らしく暮らせるあたたかさあふれるまち、そして、長きにわたる歴史と伝統の中で培われてきた「地域の宝」で本市ならではの魅力を創り出し、人を呼び込み、活気あふれるまちを創りたいという思いを込めて、将来像を「夢のある、元気のある土浦」としました。

また、この将来像の実現に向けて、これまでの取組を深化させるとともに、コロナがもたらす社会構造の変化をチャンスに変えるため、優先的・重点的に取り組むべき政策として、「子ども」「地域の宝」「暮らしやすさ・働きやすさ」「防災・減災」を主眼とした4つのリーディングプロジェクト及び市政運営全体を包括する8つの基本目標を定めたところです。

今後は、市民の皆様とともに、未来への展望を切り開き、更なる発展に向けて、土浦を「夢のある、元気のある土浦」に変えていくため、本計画の推進に全力を尽くしてまいります。

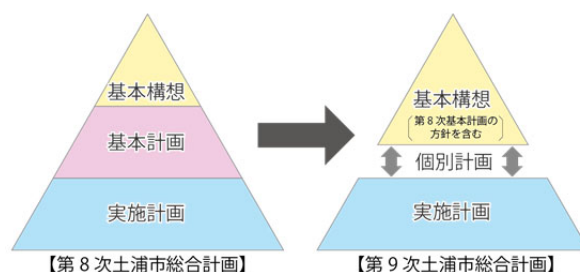
結びに、本計画の策定に当たり、数多くの貴重な御意見や御提言を頂いた市民の皆様、市議会議員各位、総合企画審議会において熱意のある御審議を頂いた委員の皆様を始め、御協力を頂いた全ての方々に心から感謝を申し上げます。

令和4年3月

土浦市長 安藤 真理子

総合計画の構成

第9次土浦市総合計画の構成については、昨今の社会経済情勢の目まぐるしい変化にいち早く対応できるよう、基本構想及び実施計画の2層構造の体系とし、基本計画については、現計画の方針に該当する部分を基本構想に含めた上で、各分野の個別計画に置き換え、基本構想と実施計画を接続する役割を担わせるものとします。



総合計画の期間

基本構想の期間は、**令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間**とします。また、実施計画の計画期間は3年間とし、さらに、計画の実効性と弾力性を確保するため、毎年度、ローリング方式による見直しを行います。

将来像

第9次土浦市総合計画では、社会経済情勢等のこれからの変化や本市の抱える課題を踏まえて、「夢のある、元気のある土浦」を将来像として掲げます。

将来像 「夢のある、元気のある土浦」

将来像の概念

「夢のある土浦」の創生 ～誰もがその人らしく暮らせるまち～

市民の誰もが、それぞれ抱く夢や希望をかなえることができるよう、その人らしく暮らすことができる、あたたかさあふれるまちを創っていきます。

そして、未来を担う子どもたちが、こうして育まれた環境の中で安心して人生のスタートを切り、郷土愛を深め、生涯を通して土浦で生きていくことを心から誇りに思えるよう、全ての市民にとって「夢のある土浦」を実現します。

「元気のある土浦」の創生 ～「地域の宝」で人を呼び込むまち～

土浦に活力をもたらすために、市民の暮らしを豊かにするとともに、更なる産業発展を促進します。あわせて、本市の「地域の宝」に磨きをかけるとともに、時代の変化に応じて、新たな地域の魅力を生み出すことで、本市ならではの魅力あふれるまちを創っていきます。

さらに、創り出した魅力を通じて、土浦に人を呼び込むことで、活気あふれる「元気のある土浦」を実現します。

将来像を支える3つの視点

人と人がつながり合い、地域社会を支える

新型コロナウイルスのまん延をきっかけとして、人と人とのつながりの在り方自体が変わりつつある中で、多様性と包容力にあふれた地域共生社会の構築に向けて、市民の誰もが居場所と役割を持つことができ、家庭、地域、職場で自分らしく活躍できるまちづくりを進めます。

さらに、こうしたまちづくりを礎に、福祉や医療、防災・防犯、子育て、教育といった各分野において、人と人がつながり合い、地域社会を支えるための各種施策を推進していきます。

本市ならではの魅力を通じて地域の活力を生み出す

市民が本市の魅力である「地域の宝」を再認識するとともに、本市の特性を生かした新たな魅力を創出することで、郷土愛を育み、かつ、住環境や雇用環境、子育て環境などの側面から市民満足度の高いまちづくりを進めます。

さらに、こうして生み出される人やまちの魅力を効果的に発信し、移住、産業立地や観光交流等につなげることで、地域の活力を生み出すための各種施策を推進していきます。

将来にわたって、持続可能な地域を創造する

今の子どもたちが夢や希望を持って羽ばたくことができるよう、技術革新が生む世の中での在り方の変化を予測しながら、自然環境保全と都市形成の両立や子育て及び教育環境の充実を図るとともに、時代の変化に対応した行政運営や中長期的視点に立った財政運営を行います。

さらに、県南地域の中心都市として、リーダーシップを発揮することで、将来にわたって、持続可能な地域を創造するための各種施策を推進していきます。

人口の見通し

結婚・出産・子育て世代の出生率の向上や青年・壮年世代の転出超過の改善、中高年世代の転入の促進などを始め、人口減少を克服（抑制）するとともに、人口構造の若返りに向けた実効性の高い施策を進めることで、**令和 13（2031）年の将来目標人口を 128,000 人**と設定します。

あわせて、シティプロモーションに積極的に取り組み、本市の知名度を高めることで、「交流人口」及び「関係人口」を拡大し、本市への人口流入につなげます。

土地利用の考え方

本市の地勢や現況を踏まえ、基本構想を実現する空間として、土地利用の考え方を以下のよう
に示します。

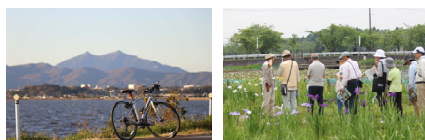
市街地ゾーン

J R 土浦駅を拠点とする都心部と J R 荒川沖駅及び J R 神立駅を中心とする副都心については、相互に連携し、かつ、補完しながら、一体的に多様な都市機能の集積を図ります。あわせて、藤沢周辺地区及びおおつ野地区は、それぞれの地域特性を生かした良好な市街地の形成を図ります。



自然環境ゾーン

環境保全活動の充実を図るとともに、自然を活用した交流機関の提供など、市民の生活を豊かにする取組を推進します。



集落環境ゾーン

人口減少による集落の空洞化・過疎化を防ぐとともに、適切な土地利用を誘導することで、自然と生活がほどよく両立し、共存するゾーン形成を図ります。



都市軸

各市街地ゾーンや周辺を結び、市民が暮らしやすく、地域が持続可能となる交通ネットワークを構築します。あわせて、スマートインターチェンジの整備を推進し、まちに活力をもたらすため、交通ネットワークを生かして、各インターチェンジ周辺地区の適切な土地利用の誘導を図ります。

自然軸

筑波山麓、霞ヶ浦とそれらの間を流れる桜川から成る自然軸を基軸として、生態系のつながりを守るとともに、自然に親しむための環境整備を図ります。

広域交通軸

未来の交通ネットワークの形成に向けて、つくばエクスプレスの本市への延伸の実現を目指します。

計画の全体構成



リーディングプロジェクト

将来像「夢のある、元気のある土浦」を実現するため、優先的・重点的に取り組むべき政策として、次の4つのリーディングプロジェクトを定め、まちづくりを進めていきます。

リーディングプロジェクト1 子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり

● リーディングプロジェクトの概要

「かがやけ！土浦の子どもたち」を合い言葉に、未来を担う子どもたちが地域とのつながりの中で心身共に健やかに、生き生きと育ち、土浦を故郷として誇りに思うことができるまちを目指します。

● 成果指標：年少人口割合

10.9% (R2)
→11.4% (R13)



● 政策方針と主導する取組

1 子育て環境の充実

本市全体の保育の質の向上、時代の変化に応じた子育て支援の充実、仕事と子育ての両立

2 経済的支援の充実

子育てにかかる経済的支援制度の不断の見直し

3 教育環境の充実

時代の変化に応じた個別最適な学びと協働的な学びの提供、学校施設の環境改善、小学校の適正配置

リーディングプロジェクト2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり

● リーディングプロジェクトの概要

本市の持つ自然環境や歴史文化、日本一の生産量を誇るれんこんや花火競技大会、充実したサイクリング環境など、「地域の宝」を最大限に生かして本市の魅力を創造し、戦略的に発信することで、人口還流を強化し、持続的に発展できるまちを目指します。

● 成果指標：観光入込客数

808,102 人 (R2)
→1,755,000 人 (R13)



● 政策方針と主導する取組

1 「地域の宝」を核とした魅力の創造

サイクリングを活用した地域活性化、広域連携による観光の推進、「イベント」資源の効果的活用、歴史・文化の継承

2 「地域の宝」の戦略的な発信

シティプロモーション戦略の展開

リーディングプロジェクト3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり

● リーディングプロジェクトの概要

多様化・高度化する市民ニーズを的確に把握し、市民の暮らし満足度を高める取組を推進するとともに、産業の更なる発展を促すことで、本市に住む誰もが暮らしやすく、また、働きやすいまちを目指します。

● 成果指標：社会移動数

+173 人/年 (R2)
→現状値以上 (R13)



● 政策方針と主導する取組

1 暮らしの質の向上

都市拠点への都市機能の誘導、公共交通不便地域の解消、土浦港周辺地区の土地利用の推進、主要幹線道路等の整備、公園の機能充実、つくばエクスプレスの土浦への延伸の実現に向けた取組の推進

2 地域経済の活性化

インターチェンジ周辺地区の土地利用の促進、スマートインターチェンジの整備の推進、農業振興の推進、IT関連企業等のオフィスの市内移転の促進

リーディングプロジェクト4 安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり

● リーディングプロジェクトの概要

自然災害の激甚化や感染症の流行期等に自然災害が発生した場合の複合災害に備え、ハード・ソフトの両面から、災害被害を最小化し、市民の生命、財産、そして生活を守る取組を推進することで、市民が安心して暮らせる災害に強いまちを目指します。

● 成果指標：自主防災組織率

85.4% (R2)
→100% (R13)



● 政策方針と主導する取組

1 防災・減災対策の充実

地域防災力の強化

2 防災インフラの整備

土砂災害による急傾斜地崩壊防止対策、橋梁の安全対策

基本目標

将来像「夢のある、元気のある土浦」を実現するため、市政運営全体を包括する8つの基本目標を定め、まちづくりを進めていきます。

該当するSDGs

基本目標1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり

● 政策方針の概要

結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージに応じた、切れ目のない総合的な施策を推進するとともに、時代の変化に応じたより良い教育環境の整備や学校教育の充実、多様な生涯学習の機会の提供やスポーツに親しむ環境の充実を図ります。



基本目標2 未来につながる魅力あるまちづくり

● 政策方針の概要

「地域の宝」を積極的に活用し、観光や交流、ひいては移住・定住にもつなげることで地域の活性化を促進するとともに、長い歴史に培われた誇り高い文化・芸術・風景を守り、次の世代に引き継ぐ取組を推進します。



基本目標3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり

● 政策方針の概要

時代の変化に合わせて、本市の強みを生かした産業振興を図るとともに、更なる企業誘致や消費者の新たな需要の創出、中心市街地へのにぎわい創出等の取組を促進し、魅力ある都市環境を形成します。



基本目標4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり

● 政策方針の概要

大規模災害発生時の社会経済活動の維持・継続や広域的な連携も視野に、災害被害を最小に抑えるための防災・減災の取組の充実・強化を図るとともに、日常生活での犯罪・事故等の危険を未然に防ぐため、地域ぐるみで取組を進めます。



基本目標5 多様性を認め合い、包容力を育むまちづくり

● 政策方針の概要

人権意識の醸成と平和意識の啓発や男女共同参画社会、多文化共生社会などの実現に向けた取組、市民との協働の更なる深化など、一人ひとりがお互いへの理解を深め、支え合う地域共生社会の実現に向けた各種取組を推進します。



基本目標6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり

● 政策方針の概要

市民・社会・行政で支える地域福祉を推進するとともに、高齢者福祉や医療体制・社会保障制度の充実、障害者福祉の取組などを通じて、市民や事業者等と行政が相互にパートナーシップを確立し、様々な分野で全世代型の社会保障を実現します。



基本目標7 未来につながる環境にやさしいまちづくり

● 政策方針の概要

脱炭素・ゼロカーボンに向けた取組などを通じて、国際社会と共に地球環境問題の解決を目指すとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、市民・事業者・行政の連携による、人と自然が共生するための環境保全の取組を推進します。



基本目標8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり

● 政策方針の概要

市民サービスのデジタル化や社会経済情勢の変化を踏まえた社会基盤の整備などを推進するとともに、広域行政の推進や公共施設マネジメントなどを通じて、持続可能で安定的な行財政基盤を確立します。



第 9 次土浦市総合計画【概要版】

2022-2031

土浦市

〒300-8686

土浦市大和町 9 番 1 号

電話 029-826-1111 (代)



RA
R
U
I
H
C
U
S
T